

特集「お正月だよ、おみくじ付き新年号！」

毎月第1週発行
こどもの国系
情報誌!



新年あけましておめでとうござります！

●おみくじで展望する2016年

国マガ読者のみなさま、あけましておめでとうござります。激動の2015年は過ぎ去り、新たな年を迎えました。期待に胸を膨らます今年がいつたどんな年になるのかは、当たり前ですが分かりません。それなら、ちよいと神様仏様に聞いてみるとうましよう。こどもの国の近辺にある神社仏閣に初詣に行き、おみくじで2016年を占おうではないか。



●近所の神社へ初詣

まずはお馴染みの「住吉神社」(青葉区奈良町833)。とても角度の急な階段が上がって境内へ。参拝を済ませたら焚き火に当たりながら甘酒をいただくのが毎年の楽しみです。さて、おみくじの結果は？ やった、「大吉」！ 概ね良いことが書いてありますが油断するなともあります。浮かれすぎないように用心しましょう。

次は「松岳院」(青葉区奈良2-4-7)です。ここは除夜の鐘を突かせてもらえらるんです。干支にちなんだおみくじがいただけるので、期待していたのですが数が少なくすぐになくなってしまったそうです。残念。来年はもっと早めに来てチャレンジせねば。参拝をして次の場所へ。こどもの国より少し離れて、恩田駅から徒歩5分の「上恩田杉山神社」(青葉区あかね台1-1-6)に来ました。こちらの拝殿の手前には二

体の狛犬が置かれていいます。神社によって色々違いがありますね。おみくじは「末吉」。辛抱すれば楽しく暮らすことができるそうです。よっしゃ、また一年がんばるか！ 初詣以外でも地元の神社巡りを楽しむも考にしてくださいね。

●国マガおみくじ

今回、本誌裏面に特製おみくじをご用意しました。年の初めのちよつとした運試しとしてお楽しみください。2016年も国マガはみなさまの応援を糧に活動を続けていきます。今年も一年よろしくお願いたします。



Vol.34
2016年1月号 ¥0

おみくじ考ーおみくじは高いか安いかにあけておめでとうござります。

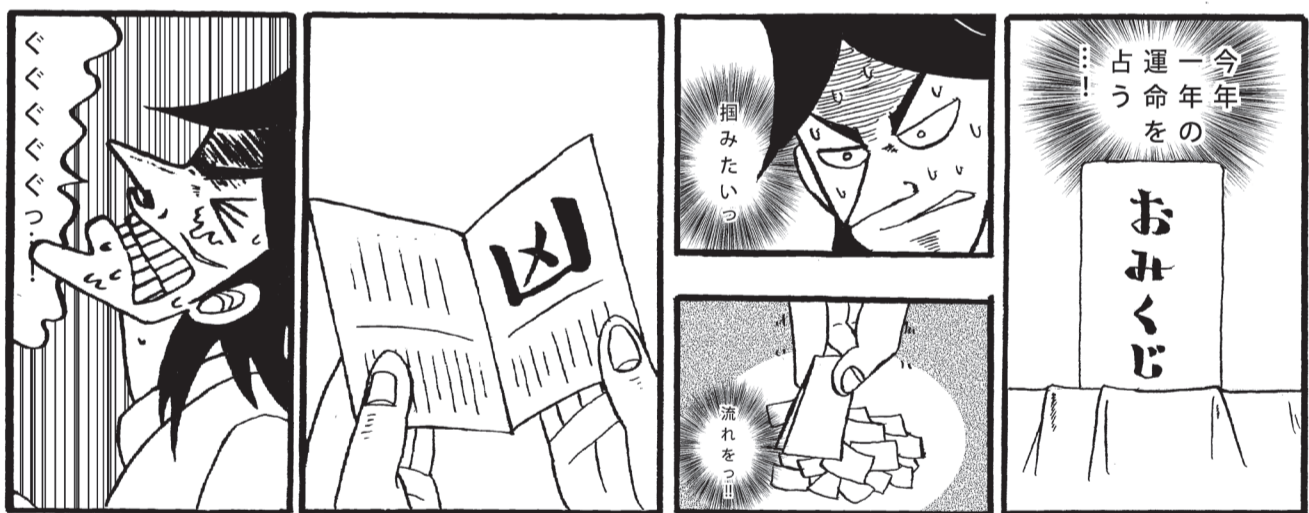
今年の干支はサル。

年末に京都の「嵐山モンキーパークいわたやま」に行く機会があったが、そこで放し飼いなっているニホンザルたちは、エサをめぐって、あつちでギャーこつちでギャーとケンカしていた。われわれは、なかよく暮らしていきたくいものです。

さて、正月を迎えたが、なんだかこの時期はいつも時間を持て余している気がする。うちの場合、特に気合いを入れて帰る田舎もないし、親戚が集まる習慣もない。いつもの家族が元旦にそろって、ちよろちよろとおせちを食べるくらいだ。

都心へ初売りにでも出掛けたいが、これまた人が集まるどころへわざわざ行くこともなからうと思ひ、結局は家でテレビを観てポーンと過ごすことになる。

正月のテレビのニュースでは、帰省で渋滞に巻き込まれた人たちのインタビューがよく流れる。それを観ながら、「はは、お疲れさまーオシッコもらすなよー」とか思ったりする反面、ヤツらのほうが正月の真ん中にいる感じがしてうらやましくなる。



そこで、自分もその気分を味わおうと、「渋滞中に読むマンガ」とか、「道中食べる弁当」とか、ディテールの細かい妄想したりしてみる。私は、正月にわざわざ他人のお正月の過ごし方をシミュレーションするぐらいヒマなのだ。そうやってテレビもいい加減見飽きるころ、ようやく初詣にでも行くかという気分になる。

毎年、住吉神社ではおみくじを引くことにしているが、これが私にとつ



このおみくじについて前から思っていることが二つある。

ひとつは、おみくじに書かれた言葉についてだ。おみくじに書かれたアドバイスをみると、「相場・思い切れ」とか、「学問・時期はいま 全力 尽せ」とか、「待人・誠心が通じ 来ます」とか、結構なドラマチックなアドバイスが並んでいる。おみくじって、平凡な人には当てはまらない文

面も多いため、基本的にはドリーマー(夢追い人)向けのものなのだと思っっている。そして、ふたつめは、おみくじの百円という値段についてだ。バチあたりなことを承知で言うが、おみくじって結構もうけがあるんじゃないか。おみくじの制作経費って実際のところ、紙代と印刷代ぐらいなワケだし。文面も毎年使いまわしつぽいし。それに、おみくじは、いわゆる「物品販売」とは異なり、神社への寄付と同じような扱いになるため消費税も関係ないという話も聞く。あ、正月からみみちいことを言いやがるだつて？ 申し訳ない。これからは、神社にそんなに利益を出すおみくじには、こつちにもちゃんとご利益もあるに違いないと思うようになりようではないか。そうやって文句を言いながらも今年もおみくじを引いた。結果はなんと「凶」。うわ、はじめてひいた。さっそく、バチがあつたか。しかし、スグに課金して改めて引き直し「中吉」にしておいた。やれやれ今年は何んな年になるのやら。そんなわけで、本年も「国マガ」をどうぞ宜しくお願いします。

国マガ配布店舗紹介
 いっしょに！ 国マガのある店！
 By オオキ
 ~ 24 ~

川本鍼灸接骨院



「川本鍼灸接骨院」
 月～金 9:30～12:30/15:00～19:30
 土 9:30～14:00
 休診日 日・祝
 青葉区奈良町 2998-8
 045-479-4721

◆接骨院に初詣

明けましておめでとうございませう。新年を迎え気持ちだけでなく身体もリフレッシュしたいですね。そこで最近の初詣を診てもらおうと、奈良町にある「川本鍼灸接骨院」に伺いました。こちらは青葉台で8年間続いた院が去年5月にこの町に移転してきました。ところでみなさんは「整骨院」と「接骨院」は「柔道整復士」という国家資格を持つ者が営む治療院。そして「整体院」は開院に資格が必要ありません。もちろんこれだけで院の良し悪しが決まるわけはありませんが、身体を診てもらおうのに国家資格を取得しているというのは安心感がありますね。

◆首・肩コリの原因は？

川本拓馬先生に首・肩の診療をしてもらいました。調子の悪い首と肩だけでなく腕や腰のマッサージをし、凝り固まった部分を見つけて丁寧にほぐしていきます。熟練した手つきと絶妙な力の加減でとても気持ちがいいです。わずかな時間の治療ですごく身体が軽くなった感じがします。ふつう、首の骨というのは身体を横から見るととき少し反った状態で頭の重さを分散し支えています。先生の診察によれば、僕の場合は首の骨がまっすぐなストレートネックになっていて、首や肩に負担がかかっています。これは普段の姿勢が良くないこと、スマホやパソコンの画面を見る時に、つい顔を前に出してしまうのが原因になることが多いということでした。うーむ、身に覚えがありますね。治すには、日々生活の中で姿勢に気を付けたり、無駄に身体に力が入っていないかを意識することが重要だと指導してもらいました。1日のうち、治療の1時間より残りの23時間が大事というのはいまひとつです。普段の生活における身体に対するアドバイスも、専門家からもらうことで心掛けることができますね。



院長の川本拓馬先生

◆自分の身体と向き合う

誰しも歳を取るとつれ次第に身体の不調は出てくるものです。しかし、川本先生は「年配の方も年齢で諦めないでほしい」と言っていました。もちろん治療を受ければ誰でも簡単に治るわけではありませんが、日常での注意点や、効果的なストレッチなどのアドバイスをしてもらうことはとても大切です。不調の原因や対処法を知れば諦めずに身体と向き合うことができます。みなさんも一度自分の身体の状態を診てもらいませうか。

短編小説

父の母の記憶

安原マヒロ

失物

「いやあ、ずいぶん並ぶんですねえ」
 住宅街の喫茶店の窓から、初詣のために神社にできた長い列を眺めながら若い男が言った。コートを着たまま、空のコーヒーマグカップを前にしている。彼の向かいに座っているのは初老の男。禿げあがった頭を撫でながら貧乏揺すりを続けている。若い男が口を開いた。
 「マルさん、辛そうっすね。喫煙席からじゃや神社見えないんで仕方ないですけど。しかし、本当に指名手配されてんのに初詣なんかに来るんですかねえ」
 初詣を終えた家族連れが賑やかに団らんする店内で、二人の座る一角だけ空気が張り詰めていた。男はすこしの間を置き、質問に答えた。
 「来るよ。おみくじを引きに」
 「え？」
 「おみくじだよ。初詣での目的ってのは参拝でも御神酒でもねえ、ほんとどはおみくじのために来てるんだ」
 「すごい暴論ですねえ」
 「暴論じゃねえよ、おみくじを馬鹿にしちゃいけないぜ、田辺」
 「馬鹿にするとか、ナメないとかか」
 男は水をひと口飲んでから話し始めた。
 「ありやもう十年も前のことだが、俺がまだ大阪府警にいた頃、マシオンで若い女の他殺体が発見される事件があったんだが、犯人の心当たりがなくて半年くらい迷走してな、結局年が明けちゃって。正月くらい気分を晴らしたいって、近所の神社に嫁と子ども連れて初詣に行っちゃったよ」
 「そんな仕事で追い詰められた状態でも初詣って行くもんなんすか？」
 「追い詰められてるからだよ。そういうもんだ。そんでおみくじを引いたんだがよ。おみくじに失物って項目があるだろ、あそこに『低いところにあり』って書いてあった」
 「ええ！ まさかそれで犯人わかったんすか！」
 「わかったってわけじゃないんだが、なんか気になったんだよな。低いところに見逃してないかなって。それで、被害者の下の部屋に再捜査かけてな。そしたらその部屋から被害者が捨てたはずのゴミ袋が見つかった。凶器も見つかった」
 「げえ、ストーカーだったんすね」
 「結局、被害者に男がいることを知って、一方的に激高して殺したってことだったんだが」
 初老の男が言い終わらないうちに、若い男が立ち上がった。
 「マルさん！ 本当に来ましたが、ほら、今列に並んだの、手配犯！ すぐえ、手配されても初詣に来るって信じられなかったけど、本当に来るんすね！」
 「言っただろ、追い詰められてるやつほど神頼みしたくなるもんなんか。おみくじを引くぜ。そこで押さえるぞ」
 初老の男も立ち上がりながら言った。右手で、ようやく吸えるであろう煙草をポケットで探しながら。

国マガおみくじ

大吉

おめでどうぞございます！
 今年も最高の国マガライフをお過ごし下さいね！
 開催スポット：WAO こどもの国

■本ノ文具「昭和書房」
 ・パン「Coonie」
 ・とんかつ「かつ元」
 ・接骨院「川本鍼灸接骨院」

■青葉台地区
 ・パン「COPPET」
 ・ラーメン「246亭」
 ・接骨院「あぶる鍼灸接骨院」
 ・美容室「カットクラブKOGA」
 ・BAR「Soul Cocktail's AOBADAI」

■田奈地区
 ・不動産「太平プラン」
 ・アートスペース「赤い家」

■町田市
 ・本ノ文具「昭和書房」
 ・パン「Coonie」
 ・とんかつ「かつ元」
 ・接骨院「川本鍼灸接骨院」
 ・パン「COPPET」
 ・ラーメン「246亭」
 ・接骨院「あぶる鍼灸接骨院」
 ・美容室「カットクラブKOGA」
 ・BAR「Soul Cocktail's AOBADAI」
 ・不動産「太平プラン」
 ・アートスペース「赤い家」
 ・古着「ULTRABO」

国マガ配布店舗様

■こどもの国地区
 ・コンビニ「スリーエフ・こどもの国駅前店」
 ・パン「MONT」
 ・カフェ＆ランチ「おぐに」
 ・歯科「こどもの国歯科」
 ・そば「なごみ」
 ・イタリアン＆バー「Bacchus」
 ・コーヒー「GRIVE」
 ・ケーキ＆喫茶「セントポーリア」
 ・焼肉「炭火焼肉はち」
 ・カフェ/カレー「なつうめ」
 ・板金/塗装「井組自動車工業」
 ・ドッグサロン「アンシャンテ」
 ・コミュニティハウス「街の家族」

■奈良北地区
 ・ハム/ソーセージ「シュタットシケンかくれ工房」

STAFF

加藤 シュンスケ (代表) 会社員 / イラストレーター (@kato_two)
 あけましておめでとうございます。今年の国マガは相も変わらず好き勝手にやっていますので、辛抱強い方、お付き合い下さい。

サリ一志村 (編集長) 編集者 (@shimamuramasari)
 年賀状を出す習慣がないのですが、仕事関係の相手から届いたりすることもある、元旦の夕方に「ヤバイヤバイ」とかいて、あせて返信を書くということを毎年繰り返しています。

オオキ 長男 (@OhQute)
 あけましておめでとうございます。今年は2016年、平成28年ですが、こんがらがりませんか？西暦の下2桁に12を足せばいいんだけど、すると今度は「今年2016年だけ。いや、2017年か？」なんて。

おぎぬまX 元芸人 (@oginuma_x)
 親愛なる国マガ読者の皆様！あけましておめでとうございます！…なんと！今年の1月から、とある会社のキャラクターデザイナーとして働くことになりました。あわわっ…！どうなる…おぎぬまX！？

安原マヒロ ファッション誌編集 (@MahirOrihaM)
 年末、久しぶりに中学時代の友人達と徹夜で麻雀をしました。青葉台の駅ビルにある雀荘「チャント君」、初めて入りましたが古き良き雀荘の香りがしてたまらんかったです。
 ★誌面広告、スタッフへのお仕事の依頼も受付中！

こどもの国系情報誌「国マガ」Vol. 34
 発行日 2016年1月5日
 デザイン 安原マヒロ
 連絡先 kunimaga920@gmail.com
 ホームページにてバックナンバー配信！→ http://kunimaga.jimdo.com/

Facebook | twitter | Twitter ID @kunimaga920